

園の実践事例紹介～「科学する心」を育てる～

いぶき合同会社 いぶき保育園宮城野（宮城県）

雨のしずくや水たまり、様々な自然事象を全身で感じていく子どもたち。
いぶき保育園の先生方は、その出合いを『点』と考え、『点』が『水面』に落ちた時の強さや衝撃によって『波紋』が広がっていく『波紋』を「科学する心」に相對させて、考察を深められていきました。事象に出合ったときの子どもたちの感情、それによって引き起こされる行動の広がりそのものを『波紋』に、保育者の感性も研ぎ澄まされ、子どもって面白い！を感じていきます。

『雫を溜める』 2歳児・5歳児

5月、雨上がりの『みんなの家』。2歳児Aさんは、屋根の鉄骨から落ちてくる雫が、バケツに入るのをしゃがみ込んで見ていた。上から雫が落ちてきたことに気付いたようだ。溜まると「ジャー！」とバケツをひっくり返し、繰り返して楽しんでいる。

落ちてくる場所に入れ物を置けば、水が溜まるのを知っているの行為だ。雫が溜まると、バケツをひっくり返して中身を出すことと、ジャーツという音を聞いて、繰り返すことを楽しむ。

そこにやって来た5歳児Iさん。雫が落ちる場所に、小さい物でも窪みがあれば雫がためられることがわかり、スコップで試す。しかし、小さなスコップは雫が落ちる真下で待っていないと溜められない。少しずつスコップを動かして丁度いい場所を見つけていた。

Iさんは、足元にバケツを2個置き、スコップに雫が入らなくてもバケツに入るようにする。上手く入るとスコップを持つ手は動かさず、目を見開く。スコップに雫が入った時、少し高め『バシャツ』という音が出る。「え、うるさい」と言いながら、スコップの高低で音が変わることを突き止めていた。自分の行動で音が変わる面白さに出会った故の『楽しい！』の感情が動いた。



屋根の鉄骨から落ちる雫を見つめる園児



バケツに雫をためる園児たち

『動く泡』 5歳児

7月、散歩にでかけると小雨が降ってきた。『みんなの家』の屋根の下で遊んでいると、雨が激しくなってきた。土のグラウンドは、すでにできていた水たまりがさらに大きくなっている。保育者が少し遠くからそれを眺めていると、「何見てるの？」とR児が近づいてきた。保育者の視線の先を確認して急に走り出す。水たまりの近くまで行き、「何か泡できてる！」「まるちゃんって名前にする！」と楽しそうに見入る。「あ、まるちゃんが動いてるよ」。

水たまりに落ちた雨粒がシャボン玉のような泡になり、風に流されていた。しばらくの間、泡になっては風で動くのをじっと見ていた。

帰り道、小さな水たまりにも小さな『まるちゃん』を発見しては、「ここにもいるー」「今度のは小さいね」と楽しげに観察していた。

別の日、水遊びをしていたR児は、友達とプールの中に立ってバシャバシャと足踏みするのを楽しんでいる。「せんせー、来てー」「ほら、Rもまるちゃん作れるよ!」と言いながら、激しく足を上げ下げしている。波だった水が泡になっては消えていく。一緒に遊んでいたS児も、R児の真似をして、「まるちゃんだー」とはしゃいでいた。

保育者の読み取り

雨が降ると水たまりができる。その水たまりがどんどん大きくなっていく過程を、時間をかけてじっと見ていたからこそ見つけられた光景だろう。R児は、大きい水溜りには大きな泡が、小さい（浅い）水溜りには小さい泡ができること、雨がザーッと強く降ると、沢山の泡ができることを経験した。更に風が吹くと、水が動くのを見て、生き物のように感じたのか名前をつけていた。様々な現象を知っていく姿は楽しげだった。

さらに後日、水遊び中に自分も泡を作れることを知り、友達に伝えることで、さらに楽しい遊びへ発展していった。それらは、これから出会う事象を観察すること、考えること、友だちと共有することへの土台となるだろう。



雨の中で水たまりを見つめる園児

余談：子どもの呟きから感じる純粹性

8月、R児は『しぜんきょうりゅう』の絵本を、I児は『いちにちおばけ』の絵本を、保育者に読んでもらった後のことである。

- [R児] 「この間、河童がいる池に行ってきた
（おそらく、岩手県にあるカッパ淵）」
- [I児] 「お化けとか妖怪って、本当にいるのかな」
- [R児] 「いないよ」
- [I児] 「いるよ！トイレにもいるんだって！
Sちゃんにきけばよかった！
いぶき保育園には3階のトイレないもん」
- [R児] 「何で恐竜は死んだのにお化けはいると思うのよ。
隕石が落ちて恐竜もみんな死んだんだから、お化けだって死んだはずでしょ。」
- [I児] 「・・・。」



絵本を眺めている園児

※Sちゃんとは、昨年度卒園した元園児である。本園の学童保育に通っているため、今でも交流がある。小さな呟きから、彼らの純粋な吸収力と柔軟な思考力を日々感じる。だから、子どもは面白い！！